

第34回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第1問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内(句読点を含む)で記入すること。

問1

	10	20	25
5	流動比率とは、流動負債に対する流動資産の割合のこと をいい、企業の短期的支払能力を示すものである。流動 比率は、アメリカにおいて、銀行が資金を貸し付けたと きに重視したことから、銀行家比率ともいわれ、また、 流動資産を帳簿価額の半分で処分しても流動負債の返済 ができること、すなわち二百%以上が望ましいとされる ことから、2対1の原則ともいわれる。なお、我が国の 大企業の流動比率の平均値は、アメリカと比べるとか なり低くなっているが、これは資本市場や金融機関に根 ざすものであって、短期的支払能力がないとはいえない。		
10			

問2

	10	20	25
5	棚卸資産滞留月数とは、完成工事高の1カ月分に対する棚卸資産の割合をいい、棚卸資産が完成工事高になるまでの期間を示すものである。ここで、棚卸資産とは、未成工事支出金および材料貯蔵品をいう。一般的に、棚卸資産の滞留は、月次の棚卸資産回転率を意味し、この回転率の鈍さは、財務の流動性に悪い影響を与えることになる。なお建設業では、棚卸資産の大半が未成工事出金であり、未成工事出金は工事内容により大きく変化するので、棚卸資産滞留月数で分析する場合、単に月数だけ見るのではなく、受注		
10	状況を考慮し、資金効率の良否を判定する必要がある。		

〔第2問〕

記号(TまたはF)

1	2	3	4	5
F	T	T	T	F

〔第3問〕

(A)

6	2	5	0	0
---	---	---	---	---

 百万円(百万円未満を切り捨て)

(B)

2	0	3	0	0
---	---	---	---	---

 百万円(同上)

(C)

1	3	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円(同上)

(D)

1	0	5	7	4	0
---	---	---	---	---	---

 百万円(同上)

流動比率

1	2	5	1	3
---	---	---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

〔第4問〕

問1

7	6	4	0	0
---	---	---	---	---

 千円 (千円未満を切り捨て)

問2

4	3	6	3	6
---	---	---	---	---

 千円 (同 上)

問3

5	4	4	0	0
---	---	---	---	---

 千円 (同 上)

問4

8	3	2	7	5
---	---	---	---	---

 千円 (同 上)

問5

9	3	8	0	7
---	---	---	---	---

 千円 (同 上)

〔第5問〕

問1

A 立 替 工 事 高 比 率

4	6	7	8
---	---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

B 固 定 長 期 適 合 比 率

6	6	6	5
---	---	---	---

 % (同 上)

C 棚 卸 資 産 回 転 率

3	0	4	4
---	---	---	---

 回 (同 上)

D 付 加 価 値 率

2	7	2	2
---	---	---	---

 % (同 上)

E 自 己 資 本 事 業 利 益 率

1	6	0
---	---	---

 % (同 上)

F 営 業 利 益 増 減 率

7	4	1	1
---	---	---	---

 % (同 上) 記号 (AまたはB) B

G 完成工事高キャッシュ・フロー率

1	2	2
---	---	---

 % (同 上)

H 配 当 性 向

3	0	3	0
---	---	---	---

 % (同 上)

I 未 成 工 事 収 支 比 率

3	2	9	7	6
---	---	---	---	---

 % (同 上)

J 流 動 負 債 比 率

1	7	1	9	2
---	---	---	---	---

 % (同 上)

(別解) B 46.29%

問2

記号 (ア～ム)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
シ	ク	コ	ウ	ヘ	フ	ア	エ	チ	ネ